

こだま

第717号



岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会
 住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号
 電話／019(654)4411
 FAX／019(654)4420
 URL／<https://iwatemoriren.org>

イベント参加者は約一、〇〇〇人に

第73回全国植樹祭一周年記念イベント開催

第七十三回全国植樹祭一周年記念イベントが七月九日午前十時から、県と同植樹祭実行委員会の主催により、八幡平市の岩手県県民の森において開催され、一般参加者ら約千人が来場した。

今回のイベントには、県内森林組合系統から総勢八十五名が参加し、式典出席、運営スタッフ、関連ブース出展対応として協力した。このイベントは、全国植樹祭の



代表者による記念植樹・記念標柱の建立

周知や開催機運の醸成を図るとともに、森林・林業関係者が一丸となって開催準備に取り組む契機とするため、全国植樹祭の開催一年前の時期にプレイベントとして開催されたものである。

式典では、中崎和久（公社）岩手県緑化推進委員会代表理事の開催の言葉に続いて、主催者の達増拓也岩手県知事のあいさつ、佐々木孝弘八幡平市長から歓迎の言葉があった。

続いて、国土緑化運動に永年にわたって貢献し、その功績が特に顕著な者に贈呈される緑化功労者感謝状の伝達が行われたのち、達増岩手県知事ら代表者によるシデコブシの記念植樹、記念標柱の建立が行われた。

また、全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」のリレー出発式が行われ、達増岩手県知事から佐々木八幡平市長に木製地球儀プレートと木製盾が引き渡された。

この地球儀は、一周年イベントの開催市である八幡平市から、全



緑化功労者感謝状の伝達・贈呈式

国植樹祭の開催市である陸前高田市を指し、県内全市町村を巡回することになっている。また、地球儀と共に、県内市町村をかたどった本県オリジナルの木製盾も巡回し、それぞれの地で市町村の形をかたどったピースをはめ込むことになっている。

式典は、全国植樹祭開催市長である戸羽太陸前高田市長の挨拶の後、五日市王県議会議長の閉会の言葉で終了した。

なお、式典終了後、参加者はアジサイとシラカバの苗木七百本を植樹した。

当日はPRイベントとして、植樹祭PRや木工品の展示・販売、

物産販売、ステージイベント、ラジオ公開放送、苗木プレゼント、スタンプリリー等の多彩なイベントが行われた。

PRイベントには、森林組合系統から、岩手県森林組合連合会がブース出展を行い、木とくらしの相談所グループが、木製玩具や木製家具等を展示し、実際に見て触れる場所を設け、予約販売も行った。

他にも、干しいたけの試食販売や、熊鈴などの購買品の販売も行

令和三年度は再造林に四、〇九九万円を助成

令和四年度 岩手県森林再生機構 第一回理事会開催

令和四年度の岩手県森林再生機構第一回理事会が、六月十七日午前十一時から、盛岡市中央通にある岩手県森林組合会館にて開催された。

理事会には、理事、監事、オブザーバー等十五名が出席し、令和三年度事業報告及び収支決算、令和四年度事業計画及び収支予算など二議案を原案通り承認、決定した。

令和三年度は、岩手県森林再生基金事業協力者からの協力金徴収額が三、一九五万円(計画対比一



岩手県森連による木製品の展示

〇三%)の実績となった。

一方、助成金交付については、基金助成対象者である森林所有者や原木出荷者である森林組合等に対し、本制度をより有効活用するよう対象施業の条件を緩和するなどの普及・啓発活動を積極的に行ったことにより、助成金交付実績は、四、〇九九万円を計上、昨年度と比較し一、一六〇万円増の実績となった。

平成三十年度から始まった「岩手県森林再生基金事業」の森林所有者への助成金交付額は、再造林

われ、多くの人で賑わいを見せていた。

また、岩手県森林組合青年部連絡協議会会員からも参加協力があった。

併催イベントとして、ノースジャパン素材流通協同組合青年部会による「げんき森林モリフェスティバル」が行われたほか、岩手県木材青年協議会の木工体験、岩手県グリーンマイスター連絡協議会のチェンソー伐倒の実演も行われた。



令和3年度植樹祭の様子 (R3.5.22 実施)

面積の拡大とともに年々増額しており、昨年度は初めて当年度に森林・林業・木材産業の関係者が抛

森林とともに80年

森林保険

森林についての火災、気象災、噴火災による損害を補償

お申し込みは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へご相談ください。



岩手県森林組合連合会 8月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級 (m)	径級 (cm)	標準価格 (1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	11,000	→
	3.65	18~28	13,500	→
	3.65	30上	13,000	→
	3.65	40上	13,000	→
	3.00	16~26	16,500	↑
	2.00	18上	10,000	→
アカマツ	4.00	18~22	11,000	↓
	4.00	24~28	11,000	↓
	4.00	30上	11,000	↓
	4.00	40上	12,000	↓
	3.00	18~28	11,000	↓
	3.00	30上	11,000	↓
	2.20	40上	11,000	↓
	2.00	18上	11,000	↓
カラマツ	4.00	14下	12,500	↑
	4.00	16~28	24,000	→
	4.00	30上	24,000	→

ウッドショックを受け早期対応

令和4年度 第二回 森林組合販売担当者会議開催

今年度二回目となる森林組合販売担当者会議が、六月二十二日午後二時から、盛岡市中央通にある岩手県森林組合会館にて開催された。

会議には、県内十六組合から二

十三名が参加し、価格が高騰している木材販売の状況や、直近の各主要工場の状況、各森林組合の生産状況等、六項目について協議が行われた。

令和四年度の木材販売の進捗状

出した協力金徴収額を上回った。当基金の収支シミュレーションによると、今後、令和三年度並みの助成金額で推移するとすれば、令和五年度からは年間一、三〇〇

万円程度の不足が予想される。これは、再生機構の助成金がある効活用され、再造林の増加に繋がるものであり、当機構が目指す方向に進んでいるものと評価される。

今後の再造林の促進のためにも、令和四年度は岩手県森林再生基金事業の趣旨に賛同する協力者をさらに増やしていくことが必要となる。

況については、前年五月比で数量は九十七%の実績となっているが、価格高騰の影響もあり、取扱金額については前年五月比で百四十八%の実績となった。

各主要工場の状況については、スギ材の納入過多のため、納入制限を実施している工場もあり、アカマツ材は松くい虫の施業指針により、6月までに搬出しなければ

ならず、納入が増えている状況となっている一方、カラマツ材は四月から変わらず、どの工場も数量確保に難航しているとの説明がなされた。

県内各木材センターの取扱いについては、数量、金額、単価の全てにおいて一昨年、昨年の同月比の実績を大きく上回るものとなっている。

これら全ては、ウッドショックの長期化及び、三月十日にロシア政府が発表した単板の輸出禁止による、国産材への代替材として、国産カラマツ材の争奪戦激化が起こった影響と思われる。

その他にも、各森林組合の今年度の生産状況や、国産材転換支援緊急対策事業、林業労働災害防止などについて協議が行われた。

伐採跡

今夏は、例年にないほどの豪雨に伴う災害が多発しています。

この度の豪雨により、被害にあわれた方に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

豪雨災害によって、国土保全など森林の持つ多面的機能の大事さを改めて痛感したところです。(小向)

全体的に荷動き悪く

県内センターの取扱量は累計で前年度比125%。単月では約1,730m³の販売増。県内合板工場の生産は順調。在庫過剰。

スギは3m中目材の売れ行きは好調。細材は地域により価格差はあるが引き合いはある。4m中目材、大径材は弱い。役物用は引き合いあり。

カラマツは、中目材弱含み。入札での応札はあるものの価格は弱い。小径木は、6~12cmが不足しているが、価格保合。

アカマツはシーズンオフ。9月頃までは合板向けがメイン。

盛岡センターでは、広葉樹のナラ、クリの良質材には応札が多い。夏場に入り全体的に伐採量が減少傾向。9月までは割れ、カビ、虫の影響もあり弱い。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (m³当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	7月21日	7月6日	7月28日	7月15日	7月8日	7月5日	7月20日	7月26日	開催せず	7月27日
スギ	2.00	18cm上	-	9,000	10,000	-	-	10,560	7,500	9,500	-	9,800
	3.00	16~26	-	16,300	16,000	17,450	16,630	13,890	15,660	13,000	-	16,200
	3.65	18~28	-	13,272	-	-	-	-	-	-	-	14,100
	3.65 4.00	30cm上	37,900 13,500	31,800 13,000	12,000	15,000 11,500	14,300	14,500	28,000 13,001	21,999 13,500	-	13,280
	4.00	10~16	9,000	9,000	9,500	10,880	11,150	9,550	9,100	-	-	10,020
落札数量	5,286 m ³		586	377	614	253	408	799	638	949	0	661
アカマツ	2.20	36cm上	-	-	-	-	-	-	9,500	8,000	-	-
	3.00	14~28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	18~28	-	-	-	-	-	-	10,500	-	-	-
	4.00	30cm上	-	-	-	-	1,100	-	10,500	-	-	-
落札数量	195.795 m ³		0	0	0	0	40	2	84	69	0	0
カラマツ	4.00	7~13	13,000	-	12,000	-	-	9,000	10,500	12,000	-	11,500
	4.00	14~28	29,000	24,500	22,000	-	-	24,010	25,000	23,010	-	-
落札数量	2,093 m ³		526	24	951	0	0	222	232	121	0	16
出荷数量	10,196 m ³		2,942	844	892	440	492	1,110	1,254	1,223	-	999
落札数量	8,626 m ³		2,409	493	878	262	457	972	1,237	1,154	0	765
平均落札率	85%		82%	58%	98%	59%	93%	88%	99%	94%	-	77%
延べ参加者	229名		60	34	23	11	10	20	30	22	0	19

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外も含まれます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配		○								○	
保合い			○	○	○	○	○	○	○		○
弱気配	○										

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること